

珍しい交響曲 日本 Minor Symphonies Japan

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
山田 耕筰 Yamada Kousaku	やまだ こうさく	1886-1965	5	交響曲"勝ちどきと平和" (1912)	☆☆☆☆	日本人初の交響曲という歴史的意味を感じるために一度は聞いてみるのが良いと思います。2回聞く価値は無いとは思いますが。	○	8.555350J	NAXOS
大木 正夫 Ohki Masao	おおき まさお	1901-1971	6	交響曲第5番「ヒロシマ」 (1938)	※※	8つの部分で38分。重苦しい雰囲気はずっと続きます。		8.557839J	NAXOS
諸井 三郎 Moroi Saburou	もろい さぶろう	1903-1977	5	交響曲第2番(1938)	☆☆☆☆	大変聞きごたえがあります。第1, 3楽章のフーガも立派です。		LPです。 K VX5506	Victor
				交響曲第3番(1944)	☆☆☆☆	同時代のヨーロッパの作曲家の作品を聴いた後に、聴いてみると、大変個性的であることがわかります。		8.557162J	NAXOS
				交響曲第4番(1951)	※※	2, 3番ほど魅力的ではありません。同時代のヨーロッパの影響が大きいようです。1, 3楽章にはピアノが協奏曲風に入ります。		LPです。 GT9325	キング
橋本 国彦 Hashimoto Kunihiko	はしもと くにひこ	1904-1949	8	交響曲第1番(1940)	×	1940年、皇紀2600年の奉祝曲として書かれた曲。第2楽章は沖縄の旋法による曲。第3楽章は越天楽による変奏曲です。特に優れた部分はありません。		8.555881J	NAXOS
				交響曲第2番(1947)	※※	2つの楽章で34分。平易過ぎる楽想。戦後2年にしては楽天的で明るすぎる。		8. 572869J	NAXOS
大澤 壽人 Ohzawa Hisato	おおざわ ひさと	1907-1953	3	交響曲第1番(1934)	☆☆☆☆	世界発録音(2017年9月サントリーホールでのライブ録音)オーケストラが良く鳴る曲です。		8.570177J	NAXOS
				交響曲第2番(1934)	※※	第2楽章は協奏交響曲風。		COCQ-85424-5	DENON

				交響曲第3番(1937)	★★★★★	大変個性的でおもしろい曲です。特に第1, 4楽章には聴きどころがたくさんあります。NAXOSのこのCDが世界発録音というのが信じられないほどです。3年後の皇紀2600年(1940年)を先取りした曲で第4楽章では君が代の断片も聴かれます。	8.557416J 並録のピアノ協奏曲第3番もぜひ聞いてほしいです。	NAXOS
安部 幸明 Abe Koumei	あべ こうめい	1911-2006	3	交響曲第1番(1957)	☆☆☆☆	3楽章で17分という短い曲ですが、大変力強いです。世界初録音が2005年、作曲者の存命中だったのが幸いです。	8.557987J	NAXOS
別宮 貞雄 Bekku Sadao	べっく さだお	1922-2012	5	交響曲第1番(1961)	※※	第1楽章の冒頭は大変ロマンティックです。(ほとんどメロドラマ)以降フランス風な響きが続きます。	8.55763J	NAXOS
				交響曲第2番(1977)	×	第1楽章のリズムと響きは和風です。		
團 伊玖磨 Dan Ikuma	だん いくま	1924-2001	6	交響曲第1番(1950)	☆☆☆☆	単一楽章で23分。素朴な味わいがあり、変化に富んでいて楽しく聞けます。	UCCD41031	ユニバーサル ミュージック
				交響曲第2番(1956)	☆☆☆☆	3つの楽章で50分。第1楽章の序奏は現代曲風で、心配しましたが、主部に入ってから分かりやすい曲調になります。オーケストラが大変良く鳴ります。第2楽章は和風の雰囲気。第3楽章は力強いアレグロで始まり、壮大に終わります。		
				交響曲第3番(1960)	☆☆☆☆	2楽章で24分。大変個性的です。特に第2楽章のアレグロは耳を休める時間ありません。		
				交響曲第4番(1965)	☆☆☆☆	駿河銀行から地域への文化的還元の意味を込めて委嘱され、対象は神奈川県。4楽章で32分。第1楽章は異様なほど力強いです。第3楽章は異様なメヌエットです。第4楽章も活力にあふれています。		
				交響曲第5番(1965)	☆☆☆☆	駿河銀行から地域への文化的還元の意味を込めて委嘱され、対象は静岡県。3楽章で41分。第1楽章の序奏は室内楽風、現代曲風ですが、主部に入ると分かりやすい曲調になり、後半は大変に盛り上がります。第2楽章は2拍子のスケルツォ。第3楽章は変奏曲。大変盛り上がる部分もあります。		
				交響曲第6番(1985) ヒロシマ	※※	3楽章で53分。3つの楽章とも能管、篠笛が入ります。第2楽章には民謡、わらべ歌の引用が登場します。第3楽章にはソプラノ独唱付き。第5番から20年後の作品。第5番までの曲にあった異様なまでの活力が感じられません。		

芥川 也寸志 Akutagawa Tasushi	あくたがわ やすし	1925-1989	3	交響曲第1番(1954)	☆☆☆☆	プロコフィエフの影響を強く感じる曲です。第4楽章の最後はプロコフィエフの第5番の最後にそっくりです。戦後日本の強い生命力にあふれています。	○	CZ30-9008	東芝EMI
小川 博興 Ogawa Hirooki	おがわ ひろおき	1925-2017	1	交響曲”日本の城”(1968)	×	明治百年記念として、キングレコードが作曲を委嘱。大量の和楽器との合奏です。5つの楽章で36分。作曲者は主にテレビドラマの音楽などで活躍した人なので、この曲も時代劇のバックに流れていそうな曲です。交響曲とは言えません。		KICC 1589	キングレコード
黛 敏郎 Mayuzumi Toshirou	まゆずみ としろう	1929-1997	2	曼荼羅交響曲(1960)	※※	2つの楽章で17分。音列を基にして作られた作品。いろいろな音がありますが、覚えられるような旋律は登場しません。		LPです。 OW-7836-ND	DENON
原 博 Hara Hiroshi	はら ひろし	1933-1002	1	交響曲(1979)	★★★★★	現代音楽には背を向けた19世紀ロマン派の音楽です。評論家からは”作品”ではなく”西洋音楽演習にしかすぎない”などと酷評されていますが、オーケストラがよく鳴る気持ちの良い曲です。ただ、3楽章までには和風の要素は少ないのですが、第4楽章はいきなり祭囃子になり、NHKの昼の憩いの音楽のような日本の農村風のメロディーが出てくるのが違和感を感じるどころです。		ART-3026	ARTUNION
水野 修考 Mizuno Syuukou	みずの しゅうこう	1934-	4	交響曲第3番(1997)	※※	第1楽章は前衛音楽ではないですが、現代音楽です。第2楽章は現代音楽風に始まり、途中からフーガ風になります。第3楽章は祭囃子風です。ドラムセットも活躍します。3つの楽章で24分。		CMCD-28071	カメラータ・トウキョウ
				交響曲第4番(2003)	☆☆☆☆	第1、2楽章は前衛音楽ではないですが、現代音楽です。第3楽章は突然映画音楽風にきれいになり、第4楽章はポップス風に始りますが、次第にシンフォニックになります。4つの楽章で32分。		CMCD-28071	カメラータ・トウキョウ
野田 輝行 Noda Teruyuki	のだ てるゆき	1940-	2	コラール交響曲 (1968)	×	現代音楽です。どこがコラールかもわかりません。		LPです。 OW-7853-ND	DENON
羽田 健太郎 Haneda Kentarou	はねだ けんたろう	1949-2007	1	交響曲「宇宙戦艦ヤマト」	×	テレビ番組の伴奏音楽のような甘い音楽で、交響曲ではまったくありません。ヤマトらしい強さは感じられません。		COCQ85460	DENON

久石 譲 Hisaishi Joe	ひさいし じょう	1950-	3	交響曲第2番(2021)	☆☆☆☆	3つの楽章で38分。2021年4月京都で世界初演。このCDは2023年3月に作曲者がウィーン交響楽団を指揮したウィーン楽友協会大ホールでの演奏を録音したもの。 全編、ミニマルミュージックの曲。3楽章とも変奏曲とのことですが、第1, 2楽章では何が主題か分かりません。第2楽章は沖縄旋法風です。第3楽章の主題は”かごめかごめ”です。 全体にナイマンに近いですが、第3楽章の半分くらいはジブリ風。	6500149	Dg
吉松 隆 Yoshimatu Takashi	よしまつ たかし	1953-	6	カムイチカブ交響曲 (交響曲第1番)(1990)	☆☆☆☆	5つの楽章で37分。タイトルはアイヌ語で「神の鳥」。鳥がさかんに鳴きます。第1楽章の低音フレーズの反復はナイマン風。第2, 4楽章の弦の響きはすばらしいです。第3楽章では打楽器が活躍。第5楽章の最後は静かに終わります。	COCQ85599	日本コロムビア
				交響曲第2番 (1992)テラ	★★★★★	第1楽章では独奏チェロが活躍。尺八、琵琶を模した音も聞こえます。第2楽章では弦の響きがすばらしいです	CHAN 9438	CHANDOS
				交響曲第3番(1998)	☆☆☆☆	終楽章は吹奏楽っぽいリズムで派手に終わります。	CHAN 9737	CHANDOS
				交響曲第4番(2000)	☆☆☆☆	第2楽章のワルツの部分では過去の作曲家のワルツやスケルツォの引用があります。	CHAN 9960	CHANDOS
				交響曲第5番(2001)	★★★★★	第1, 4楽章ではベートーベンの運命の動機が盛大に鳴ります。21世紀の作品とは思えないほどオーケストラが気持ちよく鳴り響きます。 第1楽章冒頭はアッテリベリの第7番の冒頭と同じ趣向です。	CHAN 10070	CHANDOS
				交響曲第6番(2013) 鳥と天使たち	☆☆☆☆	第2楽章がききものです。チャイコフスキーの悲愴交響曲第4楽章の引用があります。鳥の声も聞こえます。	COCQ-85061	DENON
新垣 隆 Niigaki Takashi	にいがき たかし	1970-	2	交響曲第1番(2003) 佐村河内守の交響曲” Hiroshima”として発表され た。	★★★★★	かなりの部分はマーラー+ブルックナー+ショスタコービッチ風。ときどき現代風あるいは中世風。演奏時間80分。 平成26年2月5日:佐村河内守氏の代作をしていたことを記者会見で公表。CDは廃盤になりそうですが、曲自体は聞く価値があります。	COCQ-84901	DENON
				交響曲”連禱”(2016)	☆☆☆☆	第1楽章は前作の焼き直しのような場面が頻出。	UCCD-1443	DECCA

上萬 雅洋 Jouman Masahiro	じょうまん まさひろ	1970-	2	交響曲第1番(2012)	☆☆☆☆	鳥取県在住の作曲家です。4つの楽章で30分。1, 2, 4楽章は現代音楽風、第3楽章は単純な音楽が延々と続きます。最後は大変盛り上がり終わります。演奏は地元の市民オーケストラです。	○	MJ-2014	jo-man.jimdo.com
				交響曲第2番(2018)	☆☆☆☆	4つの楽章で40分。劇音楽っぽい部分と現代音楽っぽい部分が入り混じっています。演奏は第1番と同じ地元の市民オーケストラです。	○	MJ-2019	jo-man.jimdo.com
岸田 繁 Kishida Shigeru	きしだ しげる	1976-	2	交響曲第1番(2016)	×	スコアを購入し(R2.12.24)聞いてみました。余計に低評価となります。いろいろ楽譜の書き方は試していますが、(1/8なる小節も登場)素材自体がありがたり、あるいは低俗、もっと言えば幼稚なので聞くに堪えません。	○	VICC-60944	ビクターエンターテインメント
				交響曲第2番(2019)	×	ありがたりの音型が18, 19世紀の語法の幼稚なまねで展開されているだけで、新鮮味、おもしろみは全くありません。第1番の方がまだましです。		VICC-60955	ビクターエンターテインメント
菅野 祐悟 Kannno Yuugo	かんの ゆうご	1977-	2	交響曲第1番(2016) The Border	※※	ドラマの伴奏音楽の作曲家として多数の番組を担当している作曲者が勧められて書いた最初の交響曲。残念ながら伴奏音楽の範囲を抜け切れていません。特に盛り上がってくると完全にドラマの伴奏音楽になってしまっています。		COGQ103	DENON
				交響曲第2番(2019) Alles ist Architektur	※※	第1番よりはドラマの伴奏音楽っぽい感じは薄くなっていますが、その分、後で思い出せるようなメロディーは減っています。全4楽章を聞き終わっても交響曲を聞いたという充実感は味わえません。第3番に期待します。		COCQ85472	DENON